

大阪・忍ヶ丘駅前遺跡

- 1 所在地 大阪府四條畷市岡山
- 2 調査期間 一九七六年(昭51)二月～四月
- 3 発掘機関 四條畷市教育委員会・四條畷市文化財研究調査会
- 4 調査担当者 野島 稔
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の年代 古墳時代中期、鎌倉時代～室町時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

(1) 「天」□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□
鬼急。□□□□□□□□□□
(穿孔)

[如カ]

(155)×17×3 061

(1)

「天」
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

鬼急。□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

〔如力〕

(穿孔) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

(155) × 17 × 3 061

忍ヶ丘駅前遺跡は、生駒山系の西側斜面から派生する洪積層の標高約二五mの丘陵地形を利用して立地している。国鉄片町線忍ヶ丘

駅を中心とする約四五〇〇
m²の範囲が周知の遺跡とし
て知られている。

一九七六年に枚方信用金庫忍ヶ丘支店建設が計画さ



(大阪東北部)



9 関係文献
四條畷市教育委員会『忍ヶ丘駅前遺跡発掘調査概要・Ⅱ』（一九八三年）

大阪府立泉北考古資料館『記された世界』（一九八三年）

(野島 稔)